

Euglena Group

マレーシアにおけるバイオ燃料商業プラント建設・運営 に向けた最終投資決定等に関する補足説明

株式会社ユーグレナ

東京証券取引所（コード：2931）

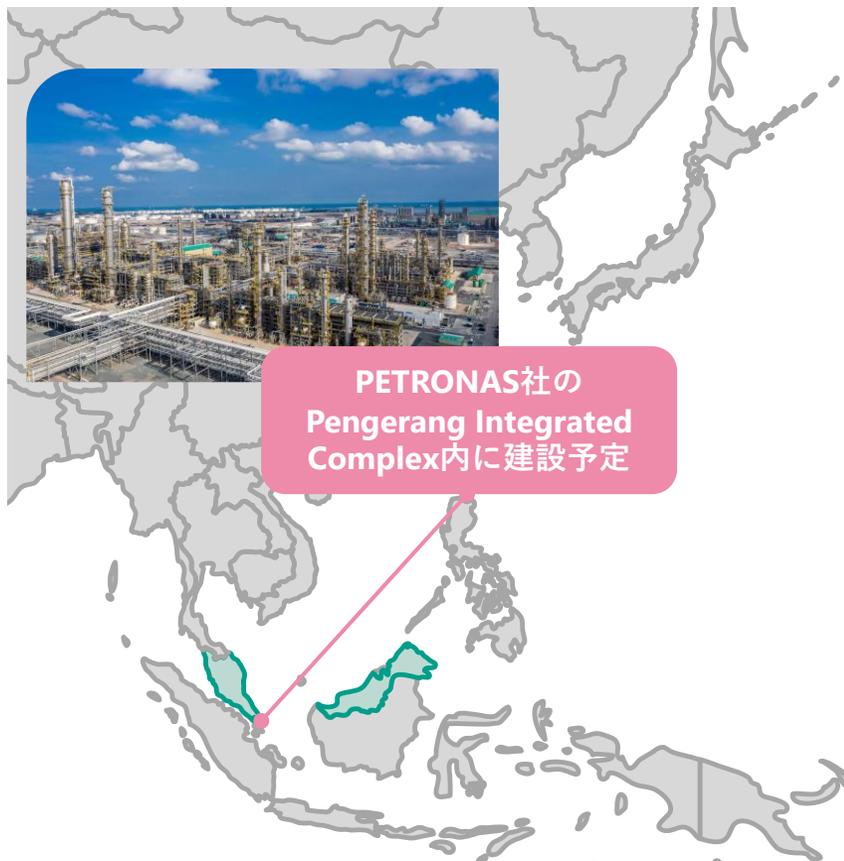
2024年7月26日

【免責事項】本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

バイオ燃料商業プラント - プロジェクトの最終投資決定について (FID)

PETRONAS社・Enilive社とのバイオ燃料商業プラント建設に関する最終投資決定を完了

本プロジェクト規模は約13億ドル相当。2024年第4四半期中に合弁会社を設立し、2028年下期迄の稼働開始を目指す



プロジェクト計画概要

建設地	PETRONAS社のPengerang Integrated Complex (PIC) マレーシア南端のジョホール州
製品	SAF (バイオジェット燃料)、HVO (次世代バイオディーゼル燃料) 製造量が最大化するよう構成はフレキシブルに調整
使用原料	使用済み植物油、動物性油脂、植物油の加工に伴う廃棄物、 中期的には微細藻類由来の藻油などのバイオマス原料
原料処理能力	約65万トン/年
製造能力	最大12,500バレル/日 (約72.5万KL/年相当) のバイオ燃料
スケジュール (予定)	株主間契約締結：2024年8月中 本合弁会社設立：2024年第4四半期中 稼働開始：2028年下期迄
プロジェクト金額	約13億米ドル

バイオ燃料商業プラント - プロジェクトのパートナー概要

欧州とアジアの大手総合エネルギー企業2社とのパートナーシップによりプロジェクトを推進

両パートナーは、バイオ燃料の原料調達と製品マーケティングにおいて強固なケイパビリティを構築中



社名	Eni S.p.A
本社	ローマ、イタリア
売上高	937億ユーロ (14.8兆円)
営業利益	83億ユーロ (1.3兆円)
総資産	1,427億ユーロ (22.2兆円)
会社概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 子会社のEnilive S.p.A.を通じて、イタリア(2か所)・米国(1か所)でバイオ燃料精製拠点を運営しており、SAF/HVO 処理能力は年間 165 万トン。2030 年までに 500 万トン以上まで拡大する計画 ● 強固な原料調達プラットフォームを有し、Agri-hubの開発を通じて 2030 年迄に 100 万トンを追加する計画
事業展開	61 か国
従業員数	32,000人以上

社名	Petroliam Nasional Berhad (PETRONAS)
本社	クアラルンプール、マレーシア
売上高	3,058億リンギット (9.5兆円)
営業利益	981億リンギット (3兆円)
総資産	7,733億リンギット (24兆円)
会社概要	<ul style="list-style-type: none"> ● マレーシア航空グループと年間23万トンのSAF オフテイク契約を締結 ● 本HEFAプロジェクトに加え、ATJやCo-processing等も合わせてSAF生産能力増強を推進 ● 使用済食用油やパーム油廃棄物の原料活用拡大に向けた研究開発も推進
事業展開	100か国以上
従業員数	46,000人以上

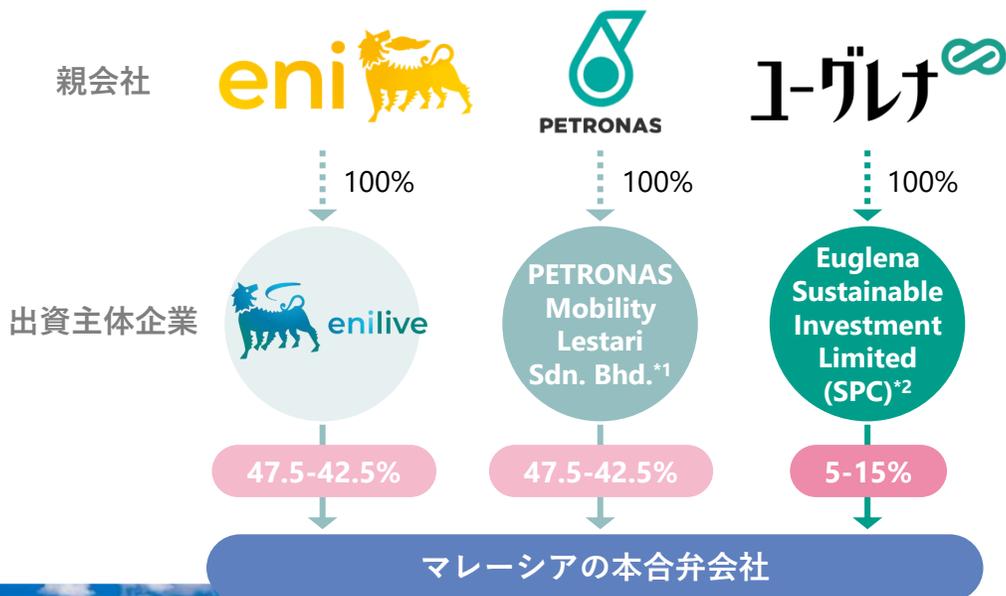


Note: 2023年度決算に使用した換算レートは2023年度末レートを使用 (EUR/JPY=156, MYR/JPY=31)

バイオ燃料商業プラント - 本合弁会社の概要

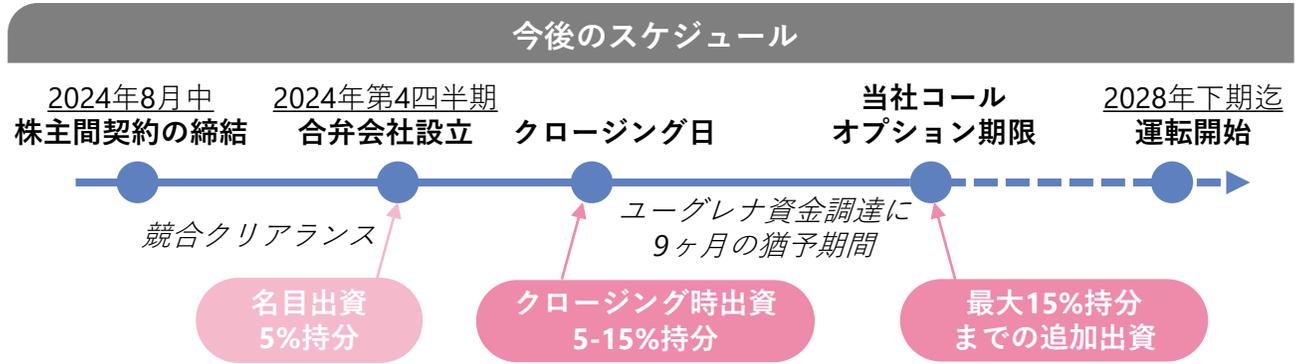
当社の当初シェアは5%で、9か月の猶予期間中に最大15%まで増額するオプションを有する

約13億ドル規模の本プロジェクトにおいて、本合弁パートナー各社が出資比率に応じて段階的な出資と保証提供を実行し、プラント稼働後は原料供給オファーと製品オフテイク（購入）を実施予定



- 取締役構成：
PETRONAS社とEni社が各2名ずつ、ユーグレナ社が1名を選任
- 主要経営メンバー(CEO/CFO他)：
PETRONAS社及びEni社より選任
- 従業員：
現地雇用及び各パートナーからの出向

締結予定の株主間契約の概要	
プロジェクト金額	約13億米ドル
投資方法	各パートナーはプロラタで段階的に出資（及びローン）を実施、本合弁会社自身も銀行借入等の第三者調達を検討
出資比率	当社は、当初は5%で出資参画し、クロージング後9か月間に15%まで増やす権利を有する。残分はPETRONASとEniが均等に保有
資金コミットメント	各パートナーは、プロジェクト金額のうち出資未完了分に相当する金額の保証をプロラタで提供
原料供給と製品のオフテイク（購入）	各パートナーは、出資比率に応じて原料供給のオファーと製品のオフテイク（購入）を実施する予定

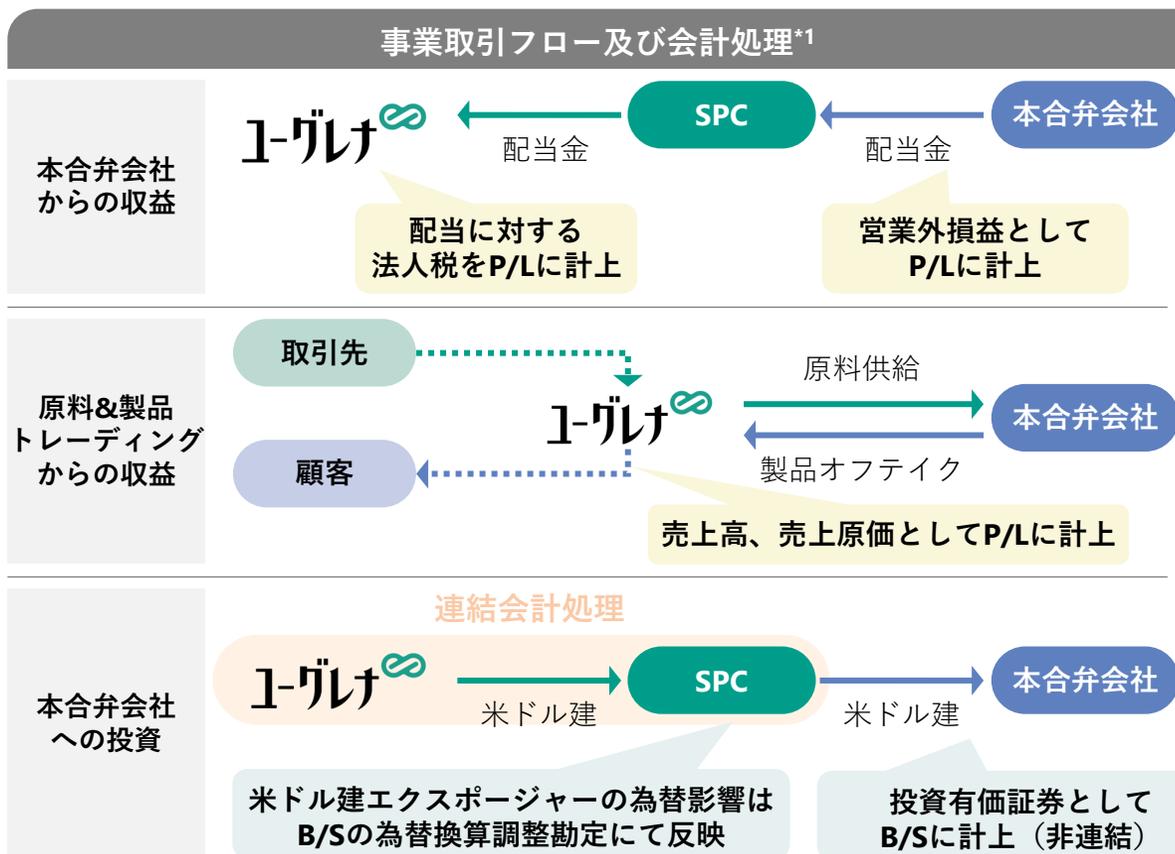


*1: Petroliaam Nasional Berhad (PETRONAS) の完全子会社である PETRONAS Marketing International Sdn. Bhd. が 100% 保有
*2: 2024年4月にケイマン諸島に設立された特別目的会社

バイオ燃料商業プラント - 当社財務インパクトのイメージ

本合弁会社からの配当金と原料/製品トレーディングからの収益が当社利益に寄与

当社が本合弁会社へ15%出資した場合の収益ポテンシャルのイメージとして、年間60億円以上の税引前利益（資金調達コストを除く）と一定のトレーディング収益を想定（実際の業績は今後の事業進捗や市場動向等で左右される）



PL影響シミュレーション*2

税引前利益（資金調達コストを除く）：
>60億円/年
 + トレーディングからの利益

前提:

- 当社出資比率15%（年間生産量約10万KL相当）
- バイオ燃料価格@300円/L
- 本合弁会社の純利益率20%以上
- 本合弁会社の配当性向100%
- 銀行ローン等の第三者調達無し

PL影響を左右する変動項目:

- 当社最終出資比率
- 将来のバイオ燃料原料/製品価格と生産割合
- プラントの稼働状況
- 配当時期/配当性向
- 第三者調達の実施
- 為替、金利、税金等



*1: 会計処理については現時点での想定に基づくもので、今後の会計処理については監査法人による会計監査の結果により変更される可能性があります

*2: 上記シミュレーションは、上記前提条件に基づき例示を目的として作成した数値例であり、当社の業績予想を構成するものではなく、今後の事業進捗や市場動向等により左右されます

バイオ燃料商業プラント - 想定される資金コミットメントと資金調達

出資比率5~15%での参画に要する資金コミットメント額は65~195百万ドル相当

クロージング時に要する資金コミットメントは、過去に実施した調達資金等で充当予定。出資比率15%への引上げに必要な資金コミットメントに向けて、9か月間の猶予期間中に追加のエクイティ性/負債性資金調達等を検討予定

出資参画に伴い求められる資金コミットメント

- 各パートナーは、下記項目から構成される資金コミットメントを、出資比率に応じて出資時に提供することが求められる
 - **出資等**：出資（及びローン提供）を段階的に実施
 - **保証提供**：プロジェクト金額（約13億ドル相当）のうち出資等未完了分に相当する金額の保証を提供
- **出資比率5%~15%での参画に要する資金コミットメント額は約65-195百万米ドル**
 - 当社は銀行保証の提供を予定しており、預金担保等のための事前の資金調達が必要となる見込み
- 本合併会社自身が銀行借入等の第三者調達を実施する場合には、資金コミットメント額が減少する可能性あり
 - 一方、第三者調達における貸手に対して、当社の信用補完策の提供が求められる可能性あり
- 将来の事業展開に伴い本合併会社で更なる資金ニーズが生じた場合、追加の資金コミットメントが求められる可能性あり

想定される資金調達

クロージング時に
必要な資金
(出資比率5~15%)

出資比率を15%まで
引上げるために必要な
資金コミットメント

- クロージング時に求められる資金コミットメント（出資比率5%相当以上）は以下により充当予定
 - **2023年2月実施の**第三者割当増資及び転換社債発行により**78億円を調達済み**
 - **2024年5月実施の**普通社債発行により**10億円を調達済み**
 - 手許現預金及び銀行借入等
- 当社はクロージング日から9か月間の猶予期間中に追加資金調達を実施することで、PETRONAS社/Enilive社からの持分譲受により**出資比率を15%まで引き上げることが可能**
 - 出資比率を引き上げるためには、出資比率に応じた追加の保証提供が必要
- 出資比率引き上げに向けて、下記を含む様々な資金調達手法を検討:
 - **エクイティ性調達**：新株発行及び転換社債発行等
 - **負債性調達**：銀行借入、本プロジェクトから期待されるキャッシュフローを活用したSPCでの借入/優先株式発行等

